

### 3 There is(are) ~の文

p.22

Point1 be 動詞の意味

- ① 「～です」…あとに名詞(句)や形容詞がくる。
- ② 「～にいる、～にある」(存在を表す)…あとに場所を表す副詞(句)がくる。

→ ※ 場所を表す副詞

there 「そこに」、here 「ここに」、at the shop 「その店に」、in America 「アメリカに」など

[比較] My father is an English teacher.

My father is in his room now.

Point2 There is(are) ~.の文：存在を表す。

- ① 「There is(are) 主語 + 場所」…(場所)に主語がある。  
→ be 動詞は、直後にある主語の数と時制によって使い分ける。
- ② 「There is(are) 主語」を使ってはいけない条件
  - a) 主語が人名などの固有名詞のとき
  - b) 主語の前に the, this, that などの定冠詞類がつくとき
  - c) 主語の前に my, your などの所有格の代名詞(所有冠詞)がつくとき  
→これらの場合は Point 1 ②主語+be 動詞を使う。

Point3 否定文と疑問文

- ◎ be 動詞があるので、be 動詞と全く同じ用法になる。

※ 疑問文の答え方に注意 Yes, there is(are). /No, there isn't(aren't).

Point4 個数、人数など数をたずねる文…「いくつありますか。」

- ◎ How many + 複数名詞 + are there ~?

[例] How many chairs are there in this room? /There are five (chairs).